

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-89	小学校	社会	社会	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 505 社会 506	新編 新しい社会 5 上 新編 新しい社会 5 下		

## 1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示される教育の目標の達成と、学習指導要領の社会科の教科目標にある「公民としての資質・能力」の基礎を育成することを目指し、以下の3点を柱として編修しました。

### 特色 ①

**資質・能力を  
確かに育てる  
教科書**

- ・学習指導要領の社会科の教科目標にある「公民としての資質・能力」を確かに育てます。
- ・「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。
- ・「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

### 特色 ②

**子供の  
学びを広げる  
教科書**

- ・多様な QR コンテンツを収載し、子供の学びを広げます。
- ・学習に効果的な写真や挿絵などの資料を豊富に掲載しています。
- ・実社会に生きる人々の姿を随所に掲載しています。

### 特色 ③

**授業づくりを  
サポートする  
教科書**

- ・教科書の構造や問題解決的な学習の流れをわかりやすく示し、授業づくりをサポートします。
- ・重要な用語や資料を明確に示し、学習の基礎・基本が定着します。
- ・学習内容だけでなく学習方法についても丁寧に示しています。

### 特色 ①

**資質・能力を確かに育てる  
教科書**

## ① 「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。

学習指導要領の教科目標には、「課題を追究したり解決したりする活動」と明記されており、問題解決的な学習が重視されています。

単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を教科書紙面に構造的に示しています。1 単位時間の内容を 1 見開きで示すことを基本とし、見開き左ページ側注欄には、本時の「めあて」とその時間の学習段階をわかりやすく明示しました。

↓ 小単元の本時の「めあて」と学習段階の例

**つかむ**

鴨川の変化について話し合い、学習問題をつくりましょう。

下 p.112

**調べる**

なぜ鴨川はよごれていたのでしょうか。

下 p.114

**まとめる**

鴨川カモガハの環境を守るための取り組みについてまとめ、話し合いましょう。

下 p.120

**いかす**

自然を守りながら人が生活をしていくためには、どのようなことを大切にしなければいけないのでしょうか。

下 p.124

## ② 「見方・考え方」を働かせた学習ができます。

学習指導要領の教科目標には、「社会的な見方・考え方を働かせる」ことが明記されています。

見開きの適所に、ドラえもんが目印の「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法（考え方）で挿絵を変えて、どのような視点や方法かわかるようにしており、「見方・考え方」を働かせて学習ができるようにしています。

海津市の地形は、  
どのようになって  
いるのかな。



**空間**    ↑ 上 p.23

日本の輸入品は、  
どのように変わって  
きたのかな。



**時間**    ↑ 下 p.35

ニュース番組の制作には、  
どのような人たちが  
かかわっているのか  
な。



**相互関係**    ↑ 下 p.54

地図やグラフを関連づけると、  
日本の水産業の  
どのような課題が  
見えてくるかな。



**方法(考え方)**    ↑ 上 p.105

## ③ 「まなびのポイント」で「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を示しています。

学習段階に応じた学習活動を例示し、「主体的・対話的で深い学び」につながります。

主な見開きに、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を「まなびのポイント」として例示しました。「つかむ」段階には「主体的」な学習活動、「調べる」段階には「対話的」な学習活動、「まとめる」段階には「(深く)考える」学習活動を中心にそれぞれ例示することで、小単元を通して「主体的・対話的で深い学び」につながるようにしています。

**まなびのポイント**    • 学習問題について予想し、学習計画を立て、学習の見直しをもとめよう。

↓ 下 p.67

**まなびのポイント**    • 情報通信技術を活用し、どのようにほかの産業とつながっているか、話し合おう。

↑ 下 p.73

**まなびのポイント**    • 関係図に整理し、情報を活用した産業の変化や発展が、自分たちの生活にあたえているえいきょうについて考えよう。

↓ 下 p.75

## ④ 社会的な事柄に参画・提案する場面(学習段階「いかす」)を設けています。

学習指導要領の「内容の取扱い」に、「多角的に考え」「選択・判断」と示されている箇所を中心に、学習段階「いかす」を設けています。

学習指導要領では、「わたしたちの生活と食料生産」「わたしたちの生活と工業生産」の学習について、「消費者や生産者の立場などから多角的に考え」「自分の考えをまとめることができるように配慮すること」とされています。これらの箇所など、第5学年全体で学習段階「いかす」を4箇所設け、学習したことをもとに、社会的な事柄に参画・提案する場面を設定しました。

↓ 下 p.48-49 これからの工業生産の発展に向けて



### 特色 2

## 子供の学びを広げる教科書

### ① 多様なQRコンテンツで子供の学びを広げます。

学習場面に応じて、個別でも協働でも活用できる多様なQRコンテンツを掲載しています。

第5学年でQRコンテンツを60点以上収録し、該当ページに二次元コードを配置しました。教科書の該当箇所から二次元コードを読み取ることで、インタビューや導入の動画、ワークシート、クイズなどの多様なQRコンテンツにアクセスでき、子供の学びを広げます。



↑ 上 p.58-59

拡大



• 札幌市雪対策室の人にインタビュー

インタビュー動画 上 p.59  
「札幌市雪対策室の人にインタビュー」

導入動画 下 p.41 「学習のはじめに見てみよう  
(これからの工業生産とわたしたち)」





## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
4年生で学んだこと／ 5年生で学ぶこと	・第4学年の既習事項を振り返り、第5学年の学習内容を提示することで、第5学年の社会科学習に意欲をもって取り組んでいけるようにしました。(第1号)	p.4-5
1 わたしたちの国土 1 世界の中の国土 2 国土の地形の特色 3 低い土地の暮らし 3 高い土地の暮らし 4 国土の気候の特色 5 あたたかい土地の暮らし 5 寒い土地の暮らし	・世界の主な国の位置と名称を学習する中で、見開きのキーワードとして「国旗」を取り上げ、他国を尊重する態度を養えるようにしました。(第5号)	p.10-11
	・海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成、多様な地形の特色、四季の変化がある気候の特色を学ぶことを通して、我が国の国土の自然に対する愛情を養うことができるようにしました。(第5号)	p.16-65
	・人々の暮らしが地形や気候などと深いつながりがあり、環境保全が国民生活の向上や産業の発展につながることに気づけるようにしました。(第4号)	p.16-65
	・「学習の進め方」「まなび方コーナー」など、主体的に問題解決的な学習を進めていくために必要な技能を身につけさせる教材を提示しました。(第2号)	p.7、 p.24-25 など
	上	
2 わたしたちの生活と食料生産 1 暮らしを支える食料生産 2 米づくりのさかんな地域 3 水産業のさかんな地域 4 これからの食料生産とわたしたち	・庄内平野の米づくり農家をはじめ、様々な仕事に携わる人の姿を「〇〇さんの話」として随所に取り上げ、共感的な理解を促すようにしました。(第2号) (第3号)	p.80、 p.101 など
	・米づくりの学習の中で庄内平野の気候や地形について扱い、農業は環境と深いつながりがあり、環境保全が産業の発展に寄与することに気づけるようにしました。(第4号)	p.76-77
	・産業の発展にかかわる先人の努力や、人々が様々な協力をしながらよりよい社会の形成に参画していることを具体的に取り上げました。(第3号)	p.84-85
3 わたしたちの生活と工業生産 1 暮らしを支える工業生産 2 自動車をつくる工業 3 工業生産を支える運輸と貿易 4 これからの工業生産とわたしたち	・幅広い視野から社会的事象の成り立ちや意味を理解したり、自分の生活とのかかわりを考えたりする能力と態度を身につけられるよう、必要に応じて「ことば」欄を設けて学習や生活の基盤となる重要な言葉を抽出し、説明文を付して提示しました。(第1号)	p.7、 p.31、 p.72 など
	・工業生産に携わる人々が、生産や流通などの面で様々な工夫をし、環境保全や公共の福祉の向上に貢献していることを具体的に取り上げました。(第3号)	p.20-21、 p.38-39 など
	・貿易の学習で外国とよりよい関係を築くことの大切さに気づけるようにしました。(第5号)	p.34-37
4 情報化した社会と産業の発展 1 情報産業とわたしたちの暮らし 2 情報を生かす産業 3 情報を生かすわたしたち	・情報産業や、情報を活用して発展する産業を扱う中で、様々な職業の意義や価値、携わる人の誇りや願いを取り上げ、共感的な理解を促すようにしました。(第2号) (第3号)	p.50-85
	・情報を活用して発展する産業が多様であることがわかるよう、「ひろげる」の扱いで、「運輸」「観光」「医療」「福祉」を取り上げ、幅広い知識を身につけられるようにしました。(第1号)	p.76-79
5 わたしたちの生活と環境 1 自然災害を防ぐ 2 わたしたちの生活と森林 3 環境を守るわたしたち	・国土を保全する森林の働きについて学ぶことを通し、豊かな森林資源を守っていくことの大切さに気づくとともに、自分たちにできることが考えられるようにしました。(第4号)	p.100-111
	・学習の成果を生かし、異なる立場から考えることを通して、児童自らがよりよい社会の形成について考えたり、社会に参画する場面を設定しました。(第3号)	p.124-125

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### 01 すべての児童にとって使いやすくわかりやすい教科書

- ① **特別支援教育への配慮** すべての児童にとって使いやすくわかりやすいデザインを追求し、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など、様々な面で配慮しています。

#### すっきりとして見やすく、読みやすいデザイン

・本文と資料をはっきり区別できるようにレイアウトし、児童に注目させたい本時の「めあて」や「学習問題」が目立つようにしています。

#### 色覚の多様性に配慮

・図表などは、色調の違いだけでなく、模様や形などでも判別できるように配慮しています。カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、専門家による検証を行っています。

#### ユニバーサルデザインフォントの使用

・教科書の一部にユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、可読性を高めています。

- ② **人権上の配慮** ・児童キャラクター（男性3人、女性3人）やイラストに描かれる人物が、性別による偏りがないようにしました。  
・人権・福祉にかかわる企業の取り組みを取り上げました。 (下p.20-21)

### ③ 造本の工夫（判型、書体、用紙等）

#### 判型・造本

- ・判型は資料性、視覚的効果が高い幅広の判型を使用。
- ・児童が長期にわたって毎日使用することをふまえ、特に堅牢な針金綴じで製本。
- ・ランドセルや机、道具箱への収納にも配慮。

#### 書体

- ・教科書本文は、書き文字に近い教科書体を使用。

#### 用紙・印刷

- ・用紙は、軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用。
- ・鮮明な挿絵、写真等の印刷で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、資料の確実な読み取りが可能。

## 02 今日的な課題への取り組み

### ① 教育のICT化への対応

- ・二次元コードを教科書の該当ページに配置し、学習場面に応じた動画やワークシート、クイズなどの多様なコンテンツを用意しました。
- ・各小単元の「つかむ」段階には「学習計画ワークシート」を、「まとめる」段階には「まとめるワークシート」をQRコンテンツとして収録し、問題解決的な学習が定着するようにしています。
- ・1人1台端末環境の実現に伴い、二次元コードからリンクするQRコンテンツとして「コンピューターを学習に生かそう」を設けています。様々な場面での活用を促すとともに、情報モラルを含めた留意点についても楽しく学ぶことができます。
- ・タブレット端末を活用した調べる場面やまとめる場面など、端末を活用した場면을紙面に取り入れています。
- ・学習者用デジタル教科書では、資料の拡大や書き込みなど、様々な機能を活用した学習が可能です。

### ② 「カリキュラム・マネジメント」への取り組み

- ・「教科関連マーク」 (教科名) を配置し、関連する他教科の学習内容を示すようにしました。

- 例
- ・算数 「わりあい、百分率」 「帯グラフ」 (下 p.8)
  - ・家庭 「ご飯の調理」 (上 p.76)
  - ・外国語 「世界のさまざまな国と国旗」 (上 p.10)

### ③ 教員支援

- ・「この教科書のつくりを見てみよう」 (上 p.2-3) や「学習の進め方」 (上 p.24-25) は、児童の理解だけでなく、教師の授業づくりのサポートにもつながります。
- ・教師用指導書には、「板書例」や「発問例」を載せ、「評価」に関する内容も充実しています。また、小单元ごとの「知識の構造図」を載せ、授業に活用できるようにしています。
- ・教師用指導書には、「複式年間指導計画」を掲載しています。

### ④ 感染症への対応

- ・二次元コードからリンクするQRコンテンツに、基本的な感染症予防についてまとめた「うつらない うつさないために」を設けています。

### ⑤ SDGs への対応

- ・持続可能な開発目標 (SDGs) について、映像などをもとに学ぶことができる特設サイトとして「SDGs わたしたちがつくる未来」を設けています。
- ・巻末折込に「SDGs について考えよう」を掲載し、学習したこととSDGsの目標を関連づけて考えることができるようにしました。 (下巻末折込)

### ⑥ 国旗の取り扱い

- ・世界の主な国の位置と名称の学習で主な国の「国旗」を取り上げ、「ことば」で日章旗について解説するとともに、「自国はもちろん、ほかの国の国旗も大切にすることが必要」であることを記述しました。 (上 p.10-11)

### ⑦ 道徳教育との関連

- ・社会科の教科特性に応じて道徳性を養うことができるよう、人間尊重や公共の精神、生命や自然への畏敬の念を育む教材を適所に取り上げました。 (下 p.93)

### ⑧ 防災教育への対応

- ・「自然災害を防ぐ」の小单元は、自然災害の種類ごとに調べる構成とし、国や自治体の対策や事業が理解できるようにしました。また、巻末折込では、プレートを明示した日本地図と近年の主な自然災害の年表を掲載しました。 (下 p.88-99、巻末折込)

### ⑨ 「領土の範囲」の取り扱い

- ・国土の構成や様子は、「多くの島からなる日本」で扱いました。また、「領土をめぐる問題」を見開きで取り上げ、竹島、北方領土、尖閣諸島について、本文・地図・写真で丁寧に扱いました。 (上 p.12-15)

### ⑩ 国際理解・グローバル教育への取り組み

- ・「世界の中の国土」では、主な国の位置と名称の学習に際して、17か国の国旗とともにそれぞれの国の写真を掲載し、児童の国際理解が進むようにしました。 (上 p.8-15)

### ⑪ 環境教育への取り組み

- ・「環境を守るわたしたち」では、行政や市民による環境を守る取り組みを取り上げ、生活環境を守ることの大切さに気づけるようにしました。 (下 p.112-121)
- ・「公害をこえて」では、熊本県水俣市の環境改善への取り組みを取り上げました。 (下 p.122-123)

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時間数)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-89	小学校	社会	社会	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 505 社会 506	新編 新しい社会 5 上 新編 新しい社会 5 下		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 特色 1

## 資質・能力を確かに育てる教科書

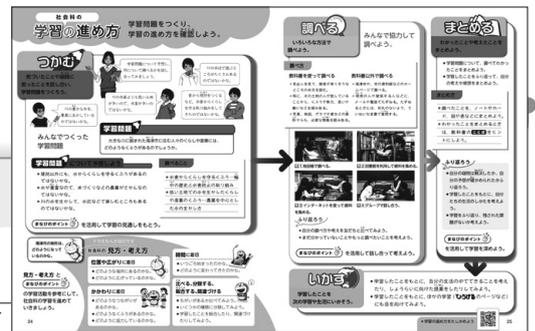
### 1 「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。

学習指導要領の教科目標には、「課題を追究したり解決したりする活動」と明記されており、問題解決的な学習が重視されています。

見開きごとの本時の「めあて」や「学習問題」をはっきりと見やすく示しており、教科書に沿って学習することで、問題解決的な学習を展開できるようにしています。

上 p.24-25 「学習の進め方」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの学習段階での具体的な学習の進め方を説明しています。

▶ 上 p.24-25 学習の進め方



**つかむ**  
鴨川の変化について話し合い、学習問題をつくりましょう。  
▶ 下 p.112

**調べる**  
なぜ鴨川はよごれていたのでしょうか。  
▶ 下 p.114

**まとめる**  
鴨川の環境を守るための取り組みについてまとめ、話し合いましょう。  
▶ 下 p.120

**いかす**  
自然を守りながら人が生活をしていくためには、どのようなことを大切にしなければならぬのでしょうか。  
▶ 下 p.124

### 2 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

学習指導要領の教科目標には、「社会的な見方・考え方を働かせる」と明記されています。

教科書では、見開きの適所に、ドラえもんが目印の「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法（考え方）の合わせて四種類の囲みを使い分けています。

海津市の地形は、どのようになっているのかな。  
**空間** ▶ 上 p.23

日本の輸入品は、どのように変わってきたのかな。  
**時間** ▶ 下 p.35

ニュース番組の制作には、どのような人たちが関わっているのかな。  
**相互関係** ▶ 下 p.54

地図やグラフを関連づけると、日本の水産業のどのような課題が見えてくるかな。  
**方法(考え方)** ▶ 上 p.105

### 3 「まなびのポイント」の学習活動をもとに、「主体的・対話的で深い学び」を進めることができます。

主な見開きに、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を「まなびのポイント」として例示しました。

「つかむ」段階には「主体的」な学習活動を中心に、「調べる」段階には「対話的」な学習活動を中心に、「まとめる」段階には「(深く)考える」学習活動を中心に例示することで、小単元を通して「主体的・対話的で深い学び」につながるようにしています。

**まなびのポイント**  
学習問題について予想し、学習計画を立て、学習の見直しをもとめよう。  
▶ 下 p.67

**まなびのポイント**  
情報通信技術を活用し、どのようにほかの産業とつながっているか、話し合おう。  
▶ 下 p.73

**まなびのポイント**  
関係図に整理し、情報を活用した産業の変化や発展が、私たちの生活にあたえているえいきょうについて考えよう。  
▶ 下 p.75

## 4 社会的な事柄に参画・提案する場面(学習段階「いかす」)を設けています。

主に各単元の終わりに学習段階「いかす」を設置し、学習したことをふまえて自分たちにできることを考えたり、様々な立場で多角的に考えたりすることができるようにしました。

「食料生産」の学習の「いかす」では、食料生産の新たな取り組みについて調べ、生産者や消費者の立場から考える場面を掲載しました。



↑下 p.48-49 これからの工業生産の発展に向けて

←上 p.122-123 食料生産の新たな取り組み

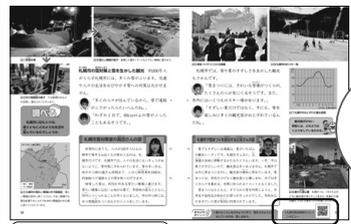
## 特色 2

# 子供の学びを広げる教科書

## 1 多様なQRコンテンツで子供の学びを広げます。

第5学年では60以上のQRコンテンツを収録し、該当ページに二次元コードを配置しました。

教科書の該当ページから二次元コードを読み取ることで、インタビューや導入の動画、ワークシート、クイズなどの多様なQRコンテンツにアクセスでき、子供の学びを広げます。



↑上 p.58-59

拡大

もくじや該当ページの二次元コードからQRコンテンツにアクセスできます。



インタビュー動画 上 p.59  
「札幌市の雪対策室の人にインタビュー」



クイズ 上 p.9  
「六つの大陸・三つの海洋」

●札幌市雪対策室の人にインタビュー



## 多様な QR コンテンツ



導入動画  
下 p.41 「学習のはじめに見てみよう(これからの工業生産とわたしたち)」

ワークシート  
上 p.79 「学習計画ワークシート」



ワークシート  
下 p.75 「まとめるワークシート」

## 2 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。



↑上 p.58

資料には、見開きごとに通し番号を付け、判別しやすくしています。

③ ゆう雪施設の様子 下水処理の水などを活用し、雪を入れてときます。

親しみやすい児童キャラクターがドラえもんとともに学習をナビゲートします。



↑上 p.100-101  
かつお節をつくる

豊富な資料をレイアウトを工夫して掲載しました。



↑下 巻末折込 SDGsについて考えてみよう





## 観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第2条に示された教育の目標を、小学校社会科の学習を通して達成できるよう教科書紙面が構成されています。 <b>全体</b></li> <li>・第2号については、実際の人に取材した「〇〇さんの話」で様々な職業や社会的活動の意義や価値、携わる人の想いや願いについて記述し、共感的な理解を促すようにしました。</li> <li>・第3号については、「いかす」の学習段階で自分たちにできることや、様々な立場から多角的に考える活動を位置付け、社会参画の基礎を培うことができるようにしました。</li> </ul>
<p>学習指導要領の教科の目標との関連 (全体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学習指導要領(社会科)に示された目標に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元を適切に構成・配列しました。 <b>全体</b></li> <li>・「見方・考え方」の囲みを設け、「見方・考え方を働かせて」学習が進められるようにしました。 <b>全体</b></li> <li>・小單元ごとに学習問題を設けて紙面を展開しており、「課題を追究したり解決したりする活動」ができるようにしています。 <b>全体</b></li> <li>・様々な仕事や活動を通じ、実社会に参画する人の話を「〇〇さんの話」で提示して、その想いや願いを共感的に理解できるようにするとともに、将来にわたってよりよい社会の形成に参画・貢献する資質や能力の基礎を育成するようにしました。 <b>全体</b></li> </ul>
<p>資質・能力への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「資質・能力」の育成すべき三つの柱をふまえて、教科書紙面を構成しています。</li> <li>・〔知識・技能〕、〔思考力・判断力・表現力等〕⇒以下別掲</li> <li>・〔学びに向かう力、人間性等〕「わたしたちの国土」の学習を通して、我が国の国土の自然に対する愛情を養うことができるようにしました。また、「これからの食料生産とわたしたち」「これからの工業生産とわたしたち」の小単元の学習を通して、食料生産・工業生産の今後について考え、我が国の産業の発展のために共に努力し、協力しようとする意識を育むことができるようにしました。</li> </ul>
<p>社会的な見方・考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きの適所に、ドラえもんが目印の「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法(考え方)で挿絵を変え、どのような視点や方法を働かせればよいかが明確にわかるようにしています。</li> <li>・下巻巻末に特設ページ(「5年生で学んだことをふり返ろう」(下p.126-127))を設け、学習した内容と学びの「方法」を振り返ることができるようにしました。</li> </ul>
<p>基礎的・基本的な知識、技能の定着への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てるようにしました。(上p.10「国旗」、上p.87「費用」、下p.31「運輸・貿易」、下p.72「情報通信技術(ICT)」など)</li> <li>・巻末に、学習事項の確認に用いることができる「さくいん」を設けました。(上p.124、下p.128)</li> <li>・随所に「まなび方コーナー」を設け、学習技能を系統的に習得できるようにしました。(上p.7「地球儀の見方・使い方」、上p.122「話し合いのしかた」、下p.110「図にまとめる」など)</li> </ul>
<p>思考力・判断力・表現力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を重視し、習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしました。</li> <li>・「いかす」場面では、食料生産の新しい取り組みを調べて紹介し合ったり、自然を守りながら人々が生活していくために大切だと考えたことを書いたりする活動を提示しました。</li> </ul>
<p>学習方法・授業展開への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を「まなびのポイント」で例示し、実際の授業展開に活用できるようにしました。(下p.67 下p.73 下p.75など)</li> <li>・話し合いの場面を重視し、適所でイラストで示したほか、まとめる場面では学習してきたことを振り返ったうえで学習問題を解決する過程をわかりやすく示し、深い学びにつながるようにしました。(上p.106-107、下p.62-63など)</li> <li>・第5学年で学習した内容や学習方法を振り返ることができるよう、巻末に特設ページ(下p.126-127「5年生で学んだことをふり返ろう」)を設けました。</li> </ul>
<p>問題解決的な学習の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を構造的に紙面に明示するとともに、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階(つかむ、調べる、まとめる、いかす)を目立つ形で示し、問題解決的な学習の展開を促しました。(上巻第2単元2「米づくりのさかんな地域」(上p.67単元の「めあて」(上p.76～「つかむ」(上p.80～「調べる」(上p.90～「まとめる」))</li> </ul>
<p>今日的な課題に関する内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の学習内容に応じて、今日的な課題について積極的に取り上げるようにしました。 ⇒防災…(下p.88-99「自然災害を防ぐ」、領土…(上p.12-15「多くの島からなる日本」「領土をめぐる問題」、環境…(下p.112-121「環境を守るわたしたち」、情報…(下p.66-75「情報を生かす産業」など</li> </ul>
<p>他教科との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科の学習内容と関連する箇所は、「教科関連マーク」と学習内容を関連するページの欄外に示し、関連を図ることができるようにしました。(上p.10外国語「世界のさまざまな国と国旗」(上p.76家庭「ご飯の調理」下p.8算数「わりあい、百分率」「帯グラフ」など</li> </ul>

人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターやイラストに描かれる人物などは、性別による偏りがないようにしました。</li> <li>上巻第1単元5「寒い土地の暮らし」の「守ってきた文化を受けつぐ」で、アイヌの人々の暮らしを取り上げ、見開きのキーワードの「ことば」では「先住民族」について解説しました。(上 p.62)</li> </ul>
印刷・造本の工夫 (親しみやすさ、使いやすさなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料性、視覚的効果が高く、かつランドセルや机、道具箱への収納にも十分配慮した幅広の判型を用い、見やすく印象的で、資料提示効果の高い紙面構成に努めました。</li> <li>軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用し、挿絵、写真等の印刷は鮮明で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、確実な資料の読み取りができるようにしました。</li> </ul>
印刷・製本の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮し、再生紙、植物油インキで印刷しています。長期の使用や持ち運びに耐えるよう、表紙には汚れにくく、防水効果、強度の高い加工（PP加工）を施すとともに、堅牢な針金綴じで製本しました。</li> </ul>
書体・大きさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆写の文字に近く読みやすい専用教科書体と、視覚にうったえるゴシック体の文字をバランスよく使い分けるとともに、児童の発達段階に配慮した適切な大きさの文字を用いました。また、読みやすさを追究し、適所にユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を用いました。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科との関連や児童の発達に十分配慮し、当該学年以上の配当漢字にはふりがなを付しました。また、一文を短く、全体の文章量が過多にならないよう簡潔な文章表現に努める一方、必要な場面では、学習内容を確実に理解させるための丁寧な文章表現を用いました。</li> </ul>
特別支援教育にかかわる適切な配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて専門家による検証を行っています。</li> <li>だれも見やすく、わかりやすい落ち着いたレイアウトに努め、図表などは、色調だけでなく、必要に応じて模様や形により識別できるようにしました。</li> <li>「拡大教科書」および「学習者用デジタル教科書」を発行予定です。</li> </ul>

## 2. 対照表

配当時数計：100

単元名・小単元名	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 わたしたちの国土	(1) 我が国の国土の様子と国民生活	p.6-65	20
1 世界の中の国土	(1) ア- (ア) (イ)、イ- (ア)	p.8-15	4
2 国土の地形の特色	(1) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.16-21	3
選択 3 低い土地の暮らし	(1) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.22-31	(5)
3 高い土地の暮らし	(1) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.32-39	(5)
4 国土の気候の特色	(1) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.42-47	3
選択 5 あたたかい土地の暮らし	(1) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	上 p.48-55	(4)
5 寒い土地の暮らし	(1) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.56-63	(4)
2 わたしたちの生活と食料生産	(2) 我が国の農業や水産業における食料生産	p.66-123	25
1 暮らしを支える食料生産	(2) ア- (ア) (イ)、イ- (ア)	p.68-75	4
2 米づくりのさかんな地域	(2) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.76-91	8
3 水産業のさかんな地域	(2) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.94-107	7
4 これからの食料生産とわたしたち	(2) ア- (ア) (イ)、イ- (ア)	p.114-123	5
3 わたしたちの生活と工業生産	(3) 我が国の工業生産	p.2-49	21
1 暮らしを支える工業生産	(3) ア- (ア) (イ)、イ- (ア)	p.4-9	3
2 自動車をつくる工業	(3) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.10-23	7
3 工業生産を支える運輸と貿易	(3) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.30-39	5
4 これからの工業生産とわたしたち	(3) ア- (ア) (イ)、イ- (ア)	p.40-49	5
4 情報化した社会と産業の発展	(4) 我が国の産業と情報との関わり	p.50-85	15
1 情報産業とわたしたちの暮らし	(4) ア- (ア) (イ)、イ- (ア)	下 p.52-63	6
2 情報を生かす産業	(4) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.66-75	5
3 情報を生かすわたしたち	(4) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.80-85	3
5 わたしたちの生活と環境	(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連	p.86-125	19
1 自然災害を防ぐ	(5) ア- (ア) (イ)、イ- (ア)	p.88-99	6
2 わたしたちの生活と森林	(5) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.100-111	6
3 環境を守るわたしたち	(5) ア- (イ) (イ)、イ- (イ)	p.112-125	6